

平成29年度北海道高等学校文化連盟上川支部書道展・研究大会開催要項

主 催 北海道高等学校文化連盟上川支部
主 管 北海道高等学校文化連盟上川支部書道専門部
当番校 北海道富良野緑峰高等学校

1 テーマ 『和衷協同 ～こころをひとつに』

2 期 日 平成29年8月31日（木）～9月1日（金）

3 会 場 書道展・研究発表・交流会 富良野文化会館 1Fフロア・大会議室等
パフォーマンス会 北海道富良野緑峰高等学校 体育館

4 日 程

第1日 8月31日（木） 富良野文化会館

9:30 10:00 10:20 12:00 13:00 16:00 16:30 17:00

受付 顧問会議	開会式	班会議・合評会 終了後自由鑑賞	昼食	審査 生徒：グループ研修	自由鑑賞	作品 撤去
------------	-----	--------------------	----	-----------------	------	----------

第2日 9月1日（金） 北海道富良野緑峰高等学校体育館

9:30 10:00 11:50 12:30 14:00

顧問会議 ※席書準備	パフォーマンス会	昼食	閉会式
---------------	----------	----	-----

5 参加資格 北海道高等学校文化連盟に加盟している学校の生徒であること

6 参加料・出品料

○出品料 半切・胴切 … ￥1,000

全紙 … ￥1,500

8月8日（月）までに下記口座へ振り込んでください。

北海道銀行富良野支店 店番号707
普通預金 口座番号 0532871

口座名 北海道富良野緑峰高等学校 当番校会計 代表 鎌田 到

7 参加申込

（1）申込期限 8月4日（金）

（2）申込方法 別記様式による大会参加申込書（出品申込書）に記入の上
メール、FAX、郵送で送付すること。

原本は後日送付するか、当日持参すること。

（3）申込先 〒076-0037 北海道富良野市西町1-1

北海道富良野緑峰高等学校 白鳥 雅人 宛

TEL 0167-22-2594 FAX 0167-22-2594

当番校事務局メールアドレス Mail: shiratorim@hokkaido-c.ed.jp

8 作品規格

（1）全紙・半切・胴切

（2）出品は一人2点までとする。ただし、2点出品する場合は創作を含む。

（3）出品は一人全紙面積までとする。

（4）各高校の出品面積は（全紙×人数）程度を越えないように努めること。

（5）台紙表装とする。天地15cmの台紙をつける。

(6) 台紙左上に出品票を添付する。

9 作品搬入と搬出

(1) 写真撮影のため、作品は事前に当番校へ搬入する。

作品受付 8月23日(水)～25日(金)

(2) 搬入先 〒076-0037 北海道富良野市西町1-1
北海道富良野緑峰高等学校 白鳥 雅人 宛
TEL 0167-22-2594 FAX 0167-22-2594

(3) 搬出は、大会当日に各自が作品撤去とともに行う。

10 大会内容

班の編成について

(1) 1班10人を原則とする。(全体で24班程度を予定)

(2) 班には班長及び副班長をおく。班長は班をまとめ副班長は班長を補佐する。
班長・副班長は当番校で担当する。

(3) 各班に担当顧問をおく。顧問はオブザーバーに徹し生徒の動きを支援する。
(顧問が複数の学校は、2名以上の参加が望ましい。)

《1日目》<富良野文化会館>

(1) 作品展示

①展示については前日に当番校で行う。

②胴切り作品は、可能な限り上下二段掛けとする。

(2) 開会式

①次第～1. 開式の辞 2. 当番校長挨拶 3. 専門委員挨拶

4. 当番校書道部部長挨拶 5. 顧問紹介

6. 閉式の辞 7. 諸連絡

※ 開会式時にはパネルを移動し、スペースを確保する。

(3) 班会議・合評会

①班ごとに実施する。

②班長が進行し、活発に意見交換ができるよう合評を行う。

③担当顧問は生徒主導の手助けになるよう支援を行う。

④合評会終了後は、他校の顧問の先生方から指導を受けても良い。

(4) 自由鑑賞

①自由鑑賞時には参加者が各自で作品鑑賞を行う。

②作品鑑賞カードは、指定の作品2点と自由に選んだ作品の感想を記入し作品に添付する。

③閉会式時に解説を行うための人気投票を行う。

(5) 審査

・審査中、生徒は会場内には入れない。

(6) 作品撤去

・各校で作品を撤去する。

・特選作品を出品一覧表の順に重ねて当番校に提出すること。

《2日目》<北海道富良野緑峰高等学校体育館>

(1) パフォーマンス会

①希望する高校がパフォーマンスを行う。(部員数の少ない学校は合同も可)

参加を希望しない高校の顧問と部長が、審査を行う。全ての高校が参加の場合は、各高校の部長が審査を行う。時間は6分程度までとする。審査基準は、書作法の美しさ(5点)、パフォーマンス性・演出(5点)、レイアウトの美しさ(5点)、題・メッセージ性(5点)の計20点とし、賞は、優勝(1校)・準優勝(2校)とする。

②パフォーマンス用紙(童心箋)、墨(黒のみ)、当番校で用意する。その他の用具は、各高校で用意すること。

③ 5 M×1 0 Mを限度とし、書き終わったときに作品を持ち上げて観客に見せること。

(2) 閉会式

① 班ごとに着席のまま進行する。

② 次第～1. 開式の辞

2. 当番学校長挨拶

3. 結果発表及び専門委員講評（人気投票の結果講評含む）

4. 次年度当番校部長挨拶

5. 閉式の辞

6. 諸連絡

11 審査・表彰

(1) 大会初日の日程終了後、「審査要領」に則り審査を行う。

(2) 優秀な作品に「特選」「秀作」「佳作」の各賞を与える。

12 全道大会出品と参加について

(1) 「特選」は全道大会出品及び参加を認め、「秀作」は全道大会参加のみを認め、「佳作」は全道大会作品鑑賞への参加を認める。

(2) 出品作品は、閉会式終了後当番校の担当者まで届けること。

13 生徒持ち物

《1日目》

(1) 筆記用具

(2) 自己紹介カード（自分のカード）

(3) 名札…名刺サイズ、各校独自のものを作成する

(4) 昼食

《2日目》

(1) パフォーマンス参加校はパフォーマンスのための用具一式

(2) 大会要項